関東地方

名前

問1　冬の関東平野において、北西から吹く季節風が非常に乾燥している理由として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 和歌山県公立入試 類似）

1. 関東山地の標高が低いため、海からの湿った空気が入ってこないため。
2. 太平洋の上空を通過する際に、黒潮の影響で水分が蒸発してしまうため。
3. シベリア大陸から吹いてくる風が、海を一切通らずに直接関東へ届くため。
4. 日本海を渡る際に蓄えた水分が、山脈を越える際に雪や雨として落ちるため。

問2　関東地方の太平洋側に突き出た半島状の地形を持ち、野菜の産出額が約863億円、果実の産出額が約854億円にのぼるなど、農業が非常に盛んな県はどこですか。（2020年 新潟県公立入試 類似）

1. 茨城県
2. 神奈川県
3. 埼玉県
4. 千葉県

問3　関東地方の北東部に位置し、東側は太平洋に面している県です。南側は利根川などを境に千葉県と接し、西側では栃木県や埼玉県と隣接しているこの県の名称を答えなさい。（2018年 富山県公立入試 類似）

1. 茨城県
2. 千葉県
3. 栃木県
4. 群馬県

問4　栃木県・群馬県・茨城県を中心とする北関東の工業地域において、1960年代には内陸部に点在していた工場の分布が、近年では特定の交通網に沿って集中するように変化しています。この地域で新しく工場や物流拠点が建設されている場所の特徴として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 大型貨物船が停泊できる港湾の付近
2. 高速道路のインターチェンジ周辺
3. 貨物列車の積み込みを行う鉄道駅の周辺
4. 広大な農地を確保しやすい山間部の急斜面

問5　神奈川県藤沢市にある江の島は、干潮時に沿岸流が運んできた砂が堆積し、本土と地続きになることがあります。このように、島と陸地が砂州によってつながった地形を何と呼びますか。（2020年 東京都公立入試 類似）

1. 砂嘴
2. カルスト地形
3. トンボロ（陸繋島）
4. リアス海岸

問6　近年、日本の大都市圏で見られる「都心回帰現象」が起きている背景とその仕組みについて、適切な説明はどれか選びなさい。（2024年 岐阜県公立入試 類似）

1. 都市中心部の地価が下落し、再開発によって居住環境が整備されたことで、利便性を重視する世帯の人口流入が進んだ。
2. 郊外の交通網が整備されたことで、都心に住まなくても短時間で通勤できるようになったため、都心の居住ニーズが高まった。
3. 都市部での高齢化が深刻化したため、介護施設を確保しやすい郊外から、医療機関の多い都心へ高齢者が一斉に移り住んだ。
4. 地方公共団体が都心居住者に補助金を支給し、郊外から都市中心部への強制的な移住を進めた。

問7　複数の鉄道が利用できる利便性の高い地域において、かつて工場や駐車場、厚生施設などが広がっていた広大な土地が取り壊され、跡地に20階を超えるような高層マンションが建設される事例が増えています。このような都市再開発に伴う土地利用の変化と、その結果として生じる現象の説明として最も適切なものはどれですか。（2019年 東京都公立入試 類似）

1. 都心部での工場の新設が促進され、周辺地域との工業的なつながりが強まる。
2. 低層住宅を中心としたゆとりある住宅街が形成され、土地利用の集約度が低下する
3. 土地利用の高度化が進み、利便性を求める層が流入することで都心部の人口が急増する。
4. 郊外への人口流出が加速することで、都心部の夜間人口が大幅に減少する。

問8　関東地方に位置し、横浜市などの大都市を擁する地域における産業構造の特色を説明した資料があります。その資料において、外国人観光客数が年間120万人を超え、就業者割合が第一次産業で約2%、第二次産業で約23%、第三次産業で約75%を示している地域の状況として、最も適切なものはどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）

1. 東京都に隣接しているものの、豊かな自然景観を保護するために開発が制限されており、第三次産業よりも第一次産業の成長が著しい。
2. 内陸部の工業団地開発により第二次産業の割合が全国で最も高く、製造業に従事する外国人労働者が多いため、観光客数も増加傾向にある。
3. 広大な平野を利用した近郊農業が盛んであり、就業者の大半が第一次産業に従事しているが、観光地としての側面も併せ持っている。
4. 都市化が進んでおり、商業やサービス業を中心とした第三次産業の割合が極めて高い一方で、工業地帯を抱えるため第二次産業も一定の割合を維持している。

問9　東京都の工業出荷額の内訳をまとめた資料では、輸送用機械に次いで、印刷業が13.1%、情報通信機械が10.4%、電気機械が7.5%を占めるという特徴があります。このように、巨大な消費地や情報の中心地であるという立地条件を活かした工業の形態を何と呼びますか。（2017年 愛知県公立入試 類似）

1. 先端技術産業
2. 重化学工業
3. 地場産業
4. 都市型工業

問10　1919年ごろの地形図において、現在の東京都渋谷区松濤付近は「鍋島農場」と呼ばれていました。当時のこの地点で主に見られた土地利用として、最も適切なものはどれですか。（2017年 佐賀県公立入試 類似）

1. 水田
2. 荒地
3. 針葉樹林
4. 果樹園

問11　幕末にアメリカのペリーが来航した浦賀や、日米修好通商条約によって開港が決められ、その後の日本で最大の貿易額を誇る港へと発展した横浜が位置する都道府県として正しいものを選びなさい。（2016年 山口県公立入試 類似）

1. 静岡県
2. 東京都
3. 千葉県
4. 神奈川県

問12　日本の河川について述べた次の文のうち、利根川の特徴を正しく説明しているものはどれですか。統計上の数値に基づき、適切なものを選びなさい。（2019年 岩手県公立入試 類似）

1. 日本で最も長い河川であり、その長さは約367キロメートルに及び、長野県から新潟県へと流れている。
2. 北海道で最も流域面積が広く、石狩平野を流れて日本海に注ぐ日本で2番目に流域面積が広い河川である。
3. 日本で最も流域面積が広く、その面積は約16,840平方キロメートルに達し、関東平野を流れている。
4. 東北地方で最も長い河川であり、岩手県から宮城県へと流れ、太平洋に注いでいる。

問13　尾瀬国立公園は、広大な湿原や山岳地帯を有し、日本の複数の地方にまたがって位置することで知られています。この国立公園が位置している４つの県の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2017年 神奈川県公立入試 類似）

1. 群馬県・長野県・福島県・山形県
2. 群馬県・山梨県・静岡県・長野県
3. 栃木県・新潟県・山形県・長野県
4. 群馬県・栃木県・福島県・新潟県

答え合わせ・解説

問1	答え 4 日本海を渡る際に蓄えた水分が、山脈を越える際に雪や雨として落ちるため。	冬の北西の季節風は、日本海を渡る際に水蒸気を蓄えますが、本州中央部の高い山脈を越えるときに強制的に上昇させられ、冷却されることで日本海側に雪や雨を降らせます。山を越えて関東平野に吹き下ろすときには水分をほとんど含んでいない状態になるため、晴天が多く乾燥した気候をもたらします。この仕組みは地理の因果関係を理解する上で非常に重要です。
問2	答え 4 千葉県	千葉県は房総半島を擁し、三方を海に囲まれた温暖な気候と平坦な土地を活かした農業が盛んです。統計上でも野菜と果実の産出額が共に高く、関東地方において食料供給の重要な役割を担っています。
問3	答え 1 茨城県	関東地方の北東端に位置する県で、県庁所在地は水戸市です。東側には鹿島臨海工業地帯などが広がる長い海岸線があり、北関東3県の中で唯一海に面しています。南側は利根川を挟んで千葉県と、西側は関東平野の中で栃木県や埼玉県と境界を接しています。
問4	答え 2 高速道路のインターチェンジ周辺	自動車輸送の重要性が高まったことで、トラックによる原材料の搬入や製品の出荷をよりスムーズに行う必要が生じました。北関東では東北自動車道や関越自動車道などの高速道路網が整備されたため、移動時間を短縮し輸送の効率性を高めることができるインターチェンジ付近に工場や物流センターが密集するようになりました。
問5	答え 3 トンボロ（陸繋島）	沿岸流によって運ばれた砂が、島と対岸の間に堤防のように堆積したものを砂州と呼びます。この砂州によって島が陸地とつながった状態、またはその地形そのものをトンボロ（陸繋島）といいます。江の島は日本における代表的なトンボロの例として知られています。
問6	答え 1 都市中心部の地価が下落し、再開発によって居住環境が整備されたことで、利便性を重視する世帯の人口流入が進んだ。	都心回帰現象の主な要因は、バブル経済崩壊後の地価下落によって都心部に住宅を確保しやすくなったことや、職住近接（職場と自宅が近いこと）を求める共働き世帯の増加です。これに合わせ、鉄道駅周辺や工場跡地での再開発が進み、高層マンションが多数供給されたことが、郊外からの人口流入を後押ししました。
問7	答え 3 土地利用の高度化が進み、利便性を求める層が流入することで都心部の人口が急増する。	鉄道の結節点など交通利便性の高い地域では、かつての工場跡地などを利用して大規模な高層マンションを建設する再開発が行われます。これにより、限られた面積の土地をより効率的に、かつ多人数が居住できるように活用する「土地利用の高度化」が進みます。この現象は「都心回帰」とも呼ばれ、かつて減少傾向にあった都心部の人口が急増する要因となっています。
問8	答え 4 都市化が進んでおり、商業やサービス業を中心とした第三次産業の割合が極めて高い一方で、工業地帯を抱えるため第二次産業も一定の割合を維持している。	神奈川県（横浜市付近）は、人口が集中する都市部において商業やサービス業といった第三次産業が高度に発達しており、就業者割合の約4分の3を占めています。同時に、京浜工業地帯などの工業集積があるため、第二次産業の割合も20%を超える水準を保っているのが特徴です。また、国際的な港湾都市である横浜などは外国人観光客にも人気のスポットとなっており、100万人を超える規模の観光需要を支えています。
問9	答え 4 都市型工業	東京都は人口が極めて多い大消費地であり、出版社や報道機関、企業の本社などが集中しています。そのため、情報の伝達に必要な印刷物や、情報通信機器、電気機械といった、消費者のニーズに素早く対応する必要がある製品の製造が盛んです。このような大都市特有の背景を持った工業を都市型工業といいます。
問10	答え 4 果樹園	大正時代初期の地形図を確認すると、現在の松濤周辺は「鍋島農場」として利用されており、地図上には果樹園を示す記号が広がっていました。この地名は、明治維新後に旧佐賀藩主の鍋島家が茶園や果樹園を営んだことに由来しています。当時の郊外農地が、その後の時代を経て現在の姿へと移り変わっていった歴史的背景があります。
問11	答え 4 神奈川県	1853年にペリーが来航した浦賀（現在の横須賀市）や、開国後に生糸の輸出などで日本最大の貿易港となった横浜は、いずれも現在の神奈川県に位置しています。この地域は江戸幕府のお膝元である江戸に近い要衝として、日本の開国と近代化において中心的な役割を果たしました。
問12	答え 3 日本で最も流域面積が広く、その面積は約16,840平方キロメートルに達し、関東平野を流れている。	利根川は「坂東太郎」の異名を持ち、流域面積が日本で最も広い河川です。その流域は群馬・栃木・茨城・埼玉・千葉・長野の6都県という広大な範囲にまたがっており、首都圏の生活や産業を支える重要な水資源となっています。日本で最も長い河川は信濃川、2番目に流域面積が広い河川は石狩川です。
問13	答え 4 群馬県・栃木県・福島県・新潟県	尾瀬国立公園は、関東地方の群馬県と栃木県、東北地方の福島県、そして中部地方の新潟県という３つの地方の境界線上に位置しています。これらの県境は、国立公園の中心部である尾瀬ヶ原や尾瀬沼の周辺で複雑に接しており、地理的に非常に珍しい環境を形成しています。隣接する山形県や長野県と混同しやすいため注意が必要です。